

JFA2005 年宣言

2005.1.1



JFA2005 年宣言の推進

世界を目指す JFA
オンザピッチ、オフザピッチ
サッカー、スポーツを文化に

2022 年理事・委員長選考の考え方

次期任期における方針と課題

- 1) サッカー 代表強化、育成、指導者養成、グラスルーツの見直し
サッカー、スポーツの本質、価値の理解
世界を目指した最適なサッカーカレンダーの作成
年間を通してサッカーをできる環境づくり
Jリーグ シーズン制の再検討
国際基準の指導者、レフェリーの養成戦略
- 2) コロナ禍における財政ダメージの回復 運営の効率化
JFA ハウスの有効活用
予算の効率的配分と再投資
働き方改革、人事戦略
中期計画と連動した事業仕分け、予算の効率的な活用
- 3) 2 年後に向けたガバナンスコードの遵守と JFA 規程の適用
FIFA と連携した新たな JFA のあり方
 - ・ 女性理事
 - ・ 外部理事
 - ・ 8 年ルール2020 年にスポーツ庁により承認され、4 年の猶予期間（2023 年まで）がある
- 4) 登録制度改革
登録人数減少の歯止め
アプリ等を利用した登録者数の拡大→生涯登録、パートナーとの連携
マーケティングとファンエンゲージメント戦略推進
メンバーシップ制度の啓発
メンバーシップ制度と登録制度の整理
ダイバーシティ
- 5) 47FA のサポートと Jリーグ/WE リーグとの連携
アマチュアサッカーとプロフェッショナルサッカーの協働
登録制度整備と連携した、シニア、女子サッカーの拡大
- 6) 継続性と新人の登用 統括団体としての責任
サッカーの政府機能としてガバナンス・コンプライアンスの整備、徹底
各種委員会委員長の後継者育成、新人登用
各委員会の機能整備
47FA、9RA、各種連盟、リーグのガバナンス・コンプライアンスの整備、徹底
ポスト 100 周年、次の 100 年に向けた戦略作成

以上の内容を考慮し、次期理事、監事、委員会委員長を決定する。